



われら那高生！(R4最終号)

☆真・善・美☆

★和歌山県立那賀高等学校★

Thank you

○ 3 学期終業式・令和 4 (2022) 年度修了式を迎えて…

本日、3 学期終業式・令和 4 (2022) 年度の修了式を迎えることができました。

平成 31 年度末頃から始まったコロナ禍は 4 年目に突入しましたが、ここにきて漸く出口が見えてきそうな気配となってきました。本日は、この場を借りて今年度の振り返り『メタ認知』をしてみたいと思います。

2 年生の皆さんは 3 月 3 日 (金) に学校運営協議会の大阪体育大学特任教授の岸田正幸先生とのパネルディスカッションで経験したと思いますが、1 年生、2 年生の皆さんそれぞれに、この 1 年間的那賀高校での学校生活、それぞれの取組は如何だったでしょうか。

今年度 4 月の始業式で、「まだまだコロナ禍の影響は続いているものの、この 1 年間を通して、那高伝統の学校行事である那高祭文化祭・体育祭をはじめ、球技大会、遠足、修学旅行やシアトル研修旅行などを実施していこう。そして、大きな節目となる 10 月の学校創立百周年の記念式典を成功させよう」という意気込みを語ってスタートを切りました。また、これらを成功させるためには、クラスやクラブという「チーム」を意識して、互いに「リスペクト」しながら取組を進めていくことが大事であるとお伝えしました。

その思いを受けて、皆さんはそれぞれ気概を持って真摯に取り組んでくれました。そのお陰で、ほぼすべての学校行事を実施することができました。皆さんが頑張った証に感謝と敬意を表したいと思います。

3 月 1 日 (水) の卒業式の折に、本校に着任して感じたこととして、皆さんに備わっている力について話しました。

1 つ目は、マナー・礼儀が身に付いていて、挨拶ができること

2 つ目は、人とのコミュニケーション力に優れていること

3 つ目は、何事に対しても人のせいにならないこと

これらの力を結集できたからこそ、コロナ禍にあっても、日々の学習活動、学校行事、部活動等がいつも以上に盛り上がり、実現できたのだと実感しています。

しかし、一方で、これらの 3 つの力には上限がないものだと思っています。テストでは 100 点が満点ですがこれら 3 つの力には 100 点満点はありません。ですから、決して今の自分に満足することなく、それぞれが様々な環境に身を置きながら、自らを鍛えて、自分自身のスキルをしっかりと高め続けていくことが大切となってきます。

例えば、1 年生の修学旅行の出発の日、大雪で交通網が大混乱しました。どれだけの人が、この状況を想定し、事前に行動することができたか、不運にも和歌山から大阪に通じる幹線道路が不通になり、抜け出すのに時間がかかってしまいましたが、それでも、保護者の方の御協力の下、出発予定時刻の 1 時間半後には全員が集合することができました。また、シアトル研修に参加し、昨日帰国した 2 年国際科のメンバーの皆さんは、未知の地での様々な経験や幾多の不自由さや困難さを経験したと思いますが、全員無事帰国の途に着くことができました。皆さんの諦めない気持ちと何事にも向かっていく勇氣に感動しています。

そのことも踏まえて、今一度、それぞれが振り返り『メタ認知』をしてみてください。

今年度、上手くいった人、そうでない人、目標が持てた人、持てない人、なかなかすぐには結論が出ないかもしれませんが、失敗したり、悔しい気持ちを経験し、それを自分自身の糧として、次のステップを踏み出していく勇氣を持ってください。その先には、きっと次につながる道が開けることにつながるものだと信じています。

さて、来年度はコロナ禍も緩和され、通常の日常が戻ってくる気配を感じています。国際交流も再開される見通しで、色々動きが出てきます。また、令和 6 年度に向けて那高の制服も改定していく予定です。

皆さんはその時、何を感じて、どのように行動していきますか。

自分自身で感じ、行動を起こさなければ、誰も手を差し延べてくれません。努力する者同士が良い仲間となり、互いにリスペクトすることで、それが良いチームとなっていきます。しっかりと自らを振り返り、自らを鍛えていきましょう。その先には、本校の教育目標である

「自ら学び、鍛える那高生」・「地域に貢献する那高生」

へとつながっていくはずですよ。

Finally, here is my farewell greeting.

“We understand things through experience.” “Go where nobody has gone. Do what nobody has done.”

Glory be to your future, and make your own dream come true.

令和 5 年 3 月 24 日

和歌山県立那賀高等学校 校長 森 勝博